

2025年度日本法社会学会学術大会沖縄大会（会場：琉球大学）開催記念

公開講座

「映像で見る法と社会」

日時：2025年4月19日（土）14:00-17:00

場所：沖縄県立図書館ビジネスルーム
（〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1丁目20番1号カフーナ旭橋A街区4階）
（モノレール旭橋駅すぐ）
会場へのアクセスは右のQRコード（県立図書館HP）をご参照ください。



講演内容

その1 「映画『12人の優しい日本人』（日1991）からみる市民の司法参加制度」
講演者：平山真理（白鷗大学教授）

法廷映画の最高傑作『12人の怒れる男』（米1954）のオマージュ作品として三谷幸喜が監督したコメディ作品。日本に「陪審制度」があったらという仮定のもと、ある殺人事件の評議に関わる12人の陪審員のお話です。実は、アメリカ施政下の沖縄では陪審制度が行われており、その後日本全体で「裁判員制度」が導入されました。この映画から何が見えてくるのでしょうか。司法への市民参加制度についての入門講義です。

その2 「映画『エリン・ブロコビッチ』（米2001）から見る米国生活用水汚染公害」
講演者：馬場健一（神戸大学教授）

最近沖縄を含め日本各地で、PFASの飲料水への混入が問題となっています。飲料水に混入した有毒物質（六価クロム）が重大な病気を引き起こしているながら隠蔽されていた、アメリカの実際の公害事件を取り上げた作品（ジュリア・ロバーツ主演）を素材に、現代的な訴訟を扱う上での日米の法と裁判の違いを易しく紹介します。基地問題と公害問題の接点なども見えてくるかもしれません。

対象：どなたでもおいでください。
申込：申込不要です。当日会場に直接おいでください。

本公開講座は、2025年5月16（土）、17日（日）に、日本法社会学会の学術大会が琉球大学（千原キャンパス）で開催されることに伴う、社会連携企画として開催されるものです。映像資料の使用については、知的財産法の専門家の助言を受け、著作権等に配慮した上で取り扱います。

なお学術大会会場におきましても、以下の社会連携企画がございますので、ぜひご参加ください。

その1 中学生・高校生・大学生対象公開講座「法学ってホントは面白い!」
日時:2025年5月17日(土)10:00-12:20
場所:琉球大学(千原キャンパス)文系講義棟101教室
対象：中学生・高校生・大学生（申込不要）

その2 一般向け公開講座「沖縄における陪審制の経験」
日時:2025年5月17日(土)14:45-17:45
場所:琉球大学(千原キャンパス)文系講義棟201教室
対象：どなたでもおいでください（申込不要）

会場アクセスについては右の QR コード（疏大 HP）を参照ください。

問合せ先：kbaba@kobe-u.ac.jp（馬場健一）

